

尾川丁仏参道案内図

尾川丁仏参道は、千葉山智満寺に向かう参道（尾川→千葉）に江戸時代後期、大津地区、島田地区の人々によって、日常に於ける至福、除災などを祈願して造った石仏が祀られており、当時のものがそのまま残されている島田市の貴重な歴史・文化遺産です。

当時の人々は、1番から33番までの石仏（丁仏）をお参りをしながら智満寺まで向かったものと思われる。

現在はハイキングコースとして整備され、多くの人々が利用する登山道になっています。

この丁仏は※西国三十三所を模しており、ここをお参り（巡礼）する事により、三十三霊場を参拝したと同じ御利益があるとされています。

※西国三十三所（さいごくさんじゅうさんしよ、さいごくさんじゅうさんしよ）は、近畿地方2府4県と岐阜県に点在する33か所の観音信仰の霊場の総称。これらの霊場を札所とした巡礼は日本で最も歴史がある巡礼行であり、現在も多くの参拝者が訪れている。（Wikipediaより）

丁仏とは
このような石仏を1丁（約109m）ごとに霊場を模して祀ったもの。
（全33体）



26番丁仏



14番丁仏



※ 黄色の番号が丁仏です。
 (例) ① — 1番丁仏
 ② — 2番丁仏
 .
 .
 .
 ③③ — 33番丁仏



縁結びの杉



大段地藏堂



尾川丁仏参道入口